

ご利用者様・ご家族様の想いを叶える取組 夢プラン を開始しました！

ご利用者様・ご家族様の想いに寄り添い、「夢」や「希望」を叶えられるサービスを提供したい、という職員の思いから『夢プラン』という取組が生まれました。

**皆様の「夢」を聞かせて下さい！
そして、その「夢」を一緒に叶えましょう！**

現在までの具体的取組例として…

- ◆外食がしたい！お買い物がしたい！という「夢」
⇒レストランやショッピングセンター等へ、職員が送迎や付き添いを行いました。
- ◆孫の結婚式に出席したい！という「夢」
⇒結婚式に向けて、経口訓練（経管栄養）や歩行訓練を積極的に行い、当日は素敵な衣装に着替えて出席して頂きました。
- ◆旦那さんとデートがしたい！という「夢」
⇒旦那さんとの思い出作りのお手伝いをしようと、送迎を含め外出の付添や食事面のサポートを現在計画中です。
- ◆お看取り対象のご利用者様からの、
ステーキが食べたい！という「夢」
⇒ご家族様に、面会時ステーキをご持参いただき、一緒にお食事を楽しんで頂きました。

※1人でも多くのご利用者様・ご家族様の「夢」や「希望」を叶えたいと思い全職員で取り組んでまいりますが、様々な面で制限もあり、全ての希望を叶えられない事もありますので、予め御了承下さい。

※夢プランに関わる費用に関しては、基本的には利用者様負担となります。

夢プラン レポート

No.0001

アコーディオン奏者の復活コンサート！



3階 ○○ ○○ 様

アコーディオン奏者であった○○○○さんは、在宅復帰へ向けて、自宅の荷物整理をした際に、大切なアコーディオンを施設に持ち帰って来られました。

さっそく、職員から演奏のお願いをしたところ、10年振りだとは感じさせない音色が響きわたり、その場にいた利用者様、職員からたくさんの拍手が！ その後はミュージシャンの血が騒ぎ、各階への出張演奏会を重ねてきました。

退所日が近づく中、3階の鍋パーティーの会場にて、職員の用意したタキシードを衣装にして、利用者様達の前で素晴らしい演奏を披露して頂きました。

体調も悪く、頑固な性格で、あまり社交的ではありませんでしたが、アコーディオン演奏をきっかけに、本人の笑顔も、他利用者様との係わりも多くなり、自然と体調もADLも回復しました。在宅復帰日も決まり、退所へ向けた準備を進める日々の中、○○様の演奏会は退所日まで予定がいっぱいです。)^(o^(



夢プラン レポート

No.0002

もう一度、娘の演奏が聞きたい！

4階 ○○ ○○○ 様

「○○さんの夢は何ですか？」と尋ねると、「娘の演奏が聴きたい！」と答えて下さいました。娘さんは箏生田流大師範とのことで、数々の演奏会やパーティーで演奏をされている有名な方でした。



娘さんのご協力を頂き、日程を確認すると2月14日にご夫婦での出演予定があるとのこと。その日はなんと○○さん本人の83歳の誕生日でした。誕生日に、夢を叶えてあげたいと、演奏会への外出を計画しました。



向かう車内では、「追っかけのように毎回聴きに行っていた」「病气やけがなどで、もう行けないものと諦めていた」など、ワクワクした様子で昔話に花が咲き、あっという間に会場へ到着。

いよいよ娘さんご夫婦の演奏が始まり... 曲が終わると...

○○さんの目には、大粒の涙が溢れていました。

帰りの車内では、「夢のような最高の誕生日になった。また来れるよう、リハビリを頑張る。」と嬉しい言葉を聞くことができました。

はじめは、消極的だった○○さんも、当日の朝を迎え、出発すると、上機嫌に想い出話をたくさん聞かせてくれました。もう観れないとあきらめていた娘さんの演奏を、最後にもう一度見ることができたと、喜ばれている姿を見ることができました。

きっとまたいつか、観に行くことができる様にこれからも職員一丸となって支援していきます。



夢プラン レポート

No.0003

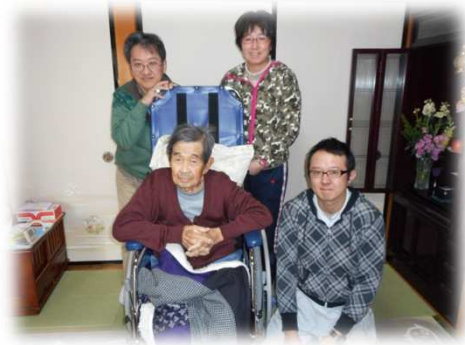
自分で建てた家に、もう一度帰りたい！

4階 ○○ ○○○ 様

大工の棟梁であった○○さん。ご入所当初から、自分で建てた家がとても自慢であり、よく職員にお話して下さっていました。

最近になり、食事が食べられなくなり、体力が低下し1日の殆どをベッド上で過ごすことが多くなりました。

そんな日々に、ご本人からの言葉は、「死ぬなら自宅がいい」「一回でいいから自宅に帰りたい」という希望ばかりが聞かれるようになりました。



ご家族へ外出依頼をしたところ、「頑固な父だったので、家に帰ったら戻りたくない、と言われるのではないかと、不安があるとのことでした。そこで、ご本人の希望を叶えるため、またご家族の不安解消のため、職員が付き添い、外出支援をすることになりました。

自宅へ向かう車内。自宅が近づくとしっかり目をあけ景色を見て、職員に道案内をする仕草までも見せて下さいました。

自宅に到着。まずはご仏壇に手を合わせ、いつもの席に座り、ご自分で建てた家の中をゆっくり見渡しました。その際のとても穏やかな表情を同行した職員は忘れません。時間にしたら30分程度の自宅での時間でしたが、帰り際のご家族の穏やかな雰囲気を感じ、実施して良かった！と思えた瞬間でした。

最後に、外出の協力をして下さったご家族様、本当にありがとうございました。帰所後、ご本人へ感想を聞くと、とても穏やかな笑顔を見せて下さいました。

ご家族様の不安も解消されたのか、また機会があったら、外出させてみようかと仰って頂くことができました、



夢プラン レポート

No.0004

吉幾三みたいな、歌手になりたい！

4階 ○○ ○様

○○さんのお誕生日に「今年の目標は？」と聞くと「吉幾三みたいな歌手になりたい」と言われました。数日後、なんと近くのショッピングモールに「吉幾三 ミニコンサート」が開かれる事がわかりました。これは、会いに行かなくては！とご本人と相談し、夢プランの取り組みがスタートしました。

コンサートの話を職員ととても楽しそうに話す○○さん。レクリエーションのカラオケで、吉幾三の歌を練習する○○さん。夢プランが日常の目標に変わり、待ち遠しい日々でした。



ミニコンサート当日。

CDも購入し、最前列での観賞。もちろん歌はお上手でしたが、トークもとても愉快で楽しいコンサートでした。トークの途中では、ご本人が○○さんへ話しかけて下さるサプライズもあり！！コンサートの最後は握手もしていただきました。



帰所後に「今日はありがとう」と笑顔で言って下さいました。そのお言葉、笑顔を見ることが出来て、介護の仕事の醍醐味を感じることが出来ました。

“素敵な夢をありがとうございます”

なかなか実現が難しいと思われた夢でしたが、思いもよらないタイミングでの吉幾三さんのコンサート開催があり、こうして実現することができました。

これからも、在宅復帰に向けた、日常の目標として、吉幾三のような歌手になれるよう、カラオケやリハビリを頑張って頂きたいと思っております。

